

水害に備えた避難訓練

数年前から、日本の各地で大雨により、街中が水につかってしまったり、川から水があふれ出て家押し流されたりする被害が起こっています。

社北地区には、足羽川と日野川、狐川が流れています。普段は、穏やかに水が流れて堤防から水があふれる心配はありませんが、予想を超える大雨が降り続けば、安心はしてられません。そこで、本校として初めて、豪雨により近くの足羽川が氾濫し、狐川も氾濫の恐れがあり、周辺の道路も冠水しているとの想定で避難訓練を行いました。

福井市のハザードマップでは、学校周辺は最大で1 mから2 mの浸水地域となっているため、1階に教室がある1年生と2年生が、2階や3階の特別教室に避難しました。

訓練では、はじめに放送と映像で福井豪雨時の洪水の様子や学校周辺の様子を説明しました。映像から、茶色い濁流が道路を流れ、家の中まで入り込んでいたり車が水につかり立ち往生してしたりする様子を知りました。水の流れの速さや水の深さに驚きの声を上げている子もいました。

次に、放送の合図で避難を開始しました。1・2年生は、「おさない、かけない、しゃべらない、もどらない、ずばやく、きく」の避難時の約束を守りながら、指定された特別教室に移動しました。2階以上の学級は、そのまま座って避難完了を待ちました。

川からあふれ出た水は、土やゴミなどで茶色や黒っぽい色に濁っています。プールの水のように、下の様子を確認することは出来ません。水の深さがさほどなくても、過って溝や用水路に落ちて流されることもあります。

今回は、学校にいる時に洪水が起こった際の垂直避難を経験しましたが、洪水の際に命を守る行動がとれるためにも、家庭で避難場所や安全な避難ルートを話し合っただけだと思います。



洪水被害の映像を視聴



福井豪雨の映像



避難する1年生



1階から2階へ避難